商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

スタイリッシュファニチャー　ミセル

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について　●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室
0120-787-505
（フリーダイヤル）
● 携帯・PHSからは
TEL 06-6452-6000へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社
06-6452-6032
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
http://www.daiken.jp/service/
DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。） 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部		北関東営業部		中京営業部		山口事務所	083-974-0303
札幌営業所	011-207-5330	宇都宮営業所	028-621-6431	名古屋営業所	052-205-5811	広島特販営業所	082-505-2525
函館事務所	0138-47-7191	宇都宮特販営業所	028-621-6431	三河事務所	0564-65-8681	岡山営業所	086-262-2271
札幌特販営業所	011-207-5330	埼玉営業所	048-669-0660	岐阜事務所	058-246-6752	岡山特販営業所	086-262-2271
旭川営業所	0166-24-1377	熊谷事務所	048-527-5601	名古屋特販営業所	052-205-5811	四国営業部	
帯広事務所	0155-25-8421	群馬営業所	027-364-9811	浜松営業所	053-458-5751	高松営業所	087-866-8500
東北営業部		首都圏営業部		三重営業所	059-226-7073	高知事務所	088-885-6202
盛岡営業所	019-636-1161	東京営業所	03-6271-7731	北陸営業部		高松特販営業所	087-866-8500
秋田事務所	018-862-4441	山梨事務所	055-275-7931	金沢営業所	076-262-3211	松山営業所	089-945-8569
仙台営業所	022-243-6621	横浜営業所	045-222-4781	富山事務所	076-429-7250	徳島営業所	088-622-6261
山形事務所	023-632-2711	相模原事務所	042-770-9130	福井事務所	0776-26-8508	九州営業部	
東北特販営業所	022-243-6621	平塚事務所	0463-20-4771	北陸特販営業所	076-262-3211	福岡営業所	092-413-2345
青森営業所	017-729-2201	多摩営業所	042-571-3434	近畿営業部		北九州事務所	093-522-1224
郡山営業所	024-946-7211	水戸営業所	029-248-8511	大阪営業所	06-6915-7041	長崎事務所	0957-35-0161
信越営業部		つくば事務所	029-849-2344	和歌山事務所	073-473-8090	大分事務所	097-533-8701
新潟営業所	025-285-5887	千葉営業所	043-287-8491	大阪特販営業所	06-6915-7041	福岡特販営業所	092-413-2345
信越特販営業所（新潟）	025-285-5887	我孫子事務所	04-7183-4070	兵庫営業所	078-321-1822	熊本営業所	096-372-5211
長野営業所	026-222-6311	静岡営業所	054-288-3881	京都営業所	075-341-8151	南九州特販営業所	096-372-5211
信越特販営業所（長野）	026-222-6311	首都圏住宅営業部	03-6271-7721	沖縄営業所	098-879-4916	鹿児島営業所	099-254-8300
長岡営業所	0258-33-5734	首都圏集合住宅営業部	03-6271-7751	中国営業部		宮崎事務所	0985-26-5908
松本事務所	0263-40-0370	首都圏リモデル営業部	03-6271-7761	広島営業所	082-505-2525	西部住宅営業部	06-6452-6232

2009.10 現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

取扱説明書

スタイリッシュファニチャー　ミセル

●この製品の性能と安全性を確保するために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●この説明書に出てくる ⚠**注意** や ⚠**警告**は、使用上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してください。

MiSEL-T091124

このたびは、ダイケン製品をご採用いただきありがとうございます。
この説明書には、本製品の使いかたと使用上の注意事項を記載しています。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

もくじ

施工業者様へ

この取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

1. 安全上のご注意 （必ずお守りいただきたいこと）

この説明書に書かれた注意事項は、お使いになる人や他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。
必ずお守りください。

危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「危害や損害の程度」を以下のような定義で使用しています。

⚠警告

取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意

取扱を誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

🚫禁止行為

取扱を誤った場合、使用者が負傷、および軽微な物的損害の発生が想定される場合

⚠注意

●絶対に分解・修理・改造しないでください。
ただし、開き扉／自在棚／引出の位置は変更することができます。
（P3～ウッド扉・アルミ扉について参照）
※お問い合わせは販売店もしくは、弊社お客様相談室へご相談ください。

製品のお問い合わせ・ご相談は 0120-787-505
※携帯・PHSからはTEL.06-6452-6000へ
受付時間:平日9:00～17:00（土・日・祝・年末年始・お盆は休み）

●耐荷重表記を超える重量物を収納しないでください。
・ユニットが破損・落下しケガをする恐れがあります。
・キャスターが破損・転倒する恐れがあります。

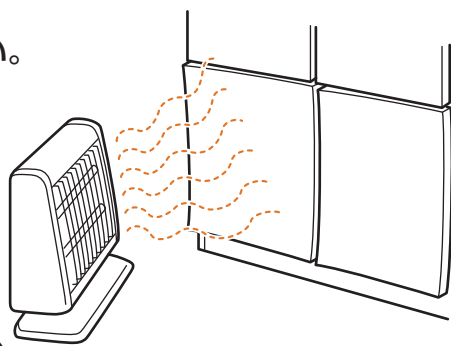
●扉や棚板、カウンター、引出などに無理な力をかけたり、ぶら下がったり、もたれたりしないでください。
・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
・扉や棚板、カウンター、引出が落下・破損・変形してケガをする恐れがあります。
・TV台などが転倒してケガをする恐れがあります。

●本製品の近くでストーブなど熱源のご使用はご遠慮ください。
変形や破損の原因となります。

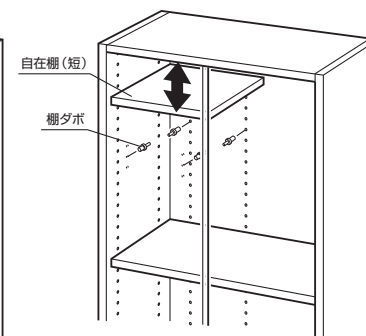
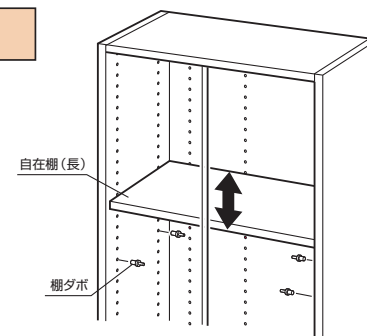
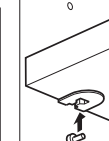
●本製品を汚れたままにしないでください。
・腐食やカビの原因となります。

●硬いものでカウンター面を擦らないでください。
・表面に傷がつく恐れがあります。

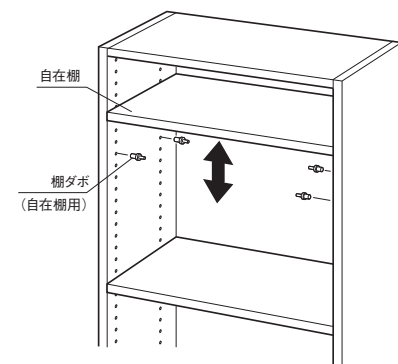
●本製品に粘着力の強いテープなどを貼り付けないでください。
・表面の剥がれや破損の原因となります。

●濡れたものを収納しないでください。変形・サビの原因になります。

2. ご使用方法

自在棚の移動

①棚板を上に持ち上げ、棚ダボから棚板を外す。
※インセットカウンター取付後も同様です。

②棚板ダボ穴より棚ダボをはずし、移動する高さのダボ穴に棚ダボを差し込む。

③棚ダボ（自在棚用）の位置にシステム金具の位置を合わせ、自在棚にしっかりと落とし込む。

※組立用ピン（固定棚用）はシャフト形状となっています。一度使用された側板の穴は取りはずすと大きくなっていたり、バリが発生したりしています。
一度使用したダボ穴では再度ネジを固定できない恐れがあるためダボ穴の再利用はおすすめしません。
組立用ピンを取りはずして、バリなどが発生した場合は、オプションの「φ5穴隠しキャップ（カタログP.63）」をご使用ください。

⚠注意

棚板の耐荷重は右記一覧になります。
ご確認の表記荷重以上でのご使用はやめてください。
棚板が脱落しケガをする恐れがあります。

耐荷重一覧表（棚板）

奥行 ＼ 幅	W400	W533	W800
D200･300･450	10kg	10kg	20kg
D600	20kg	20kg	40kg

※吊りユニットの棚板は全て10kgです。

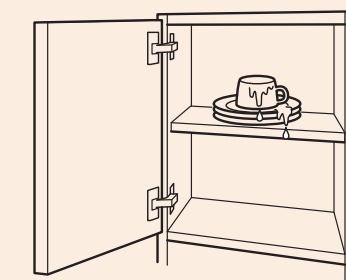
●棚板などは確実に取り付いていることを確認してからご使用ください。
・収納物が落下してケガをする恐れがあります。

●スプレー缶やシンナー・ベンジンなどの揮発性のものは収納しないでください。
・爆発や火災の原因となります。

●濡れたものを収納しないでください。
・金具のサビ・変形・腐食・シミの原因となります。

●不安定なもの、割れ易いもの、鋭利なものを無造作に収納しないでください。
・扉を開けた時など収納物が落下してケガをする恐れがあります。
引出などにキチンと収納してください。

●入浴剤や毛染液など染料の強い薬剤を収納しないで下さい。
収納に付着すると色うつりが発生します。

●金具に錆が発生する恐れがあるので、強酸、強アルカリ、有機溶剤を収納しないで下さい。
又、上記洗剤で清掃しないで下さい。

TVボード

⚠警告

●AV機器を設置する際は壁面・側板との間に隙間を設けてください。
- 隙間のサイズは家電メーカーの指示に従ってください。
  十分な隙間がないとユニット内に熱がこもり、火災、変色、変形が起こる恐れがあります。

⚠注意

●TVはユニットのサイズに合わせてお選びください。
●TVボードを勢いよく引き出さないでください。電源を切り、接続されているコードを配線などに注意し配線を抜いてから引き出してください。
●キャスタータイプはフローリングでご使用ください。
カーペットや畳でご使用されるとキャスターがスムーズに動かない可能性があります。
又、畳でご使用されると、畳が傷む可能性があります。
●床面の性能によってはキャスターにより、へこむ可能性があります。
床面の性能をご確認の上お選びください。
●バックパネル（据置きTV用）をご使用の際は付属の転倒防止金具をご使用ください。
使用しないと、地震などでTVが転倒する恐れがあります。
●カウンターの上にのらないでください。
●キャスタータイプは設置時に必ずキャスターをロックしてください。
ロックを掛けないとがたつく恐れがあります。

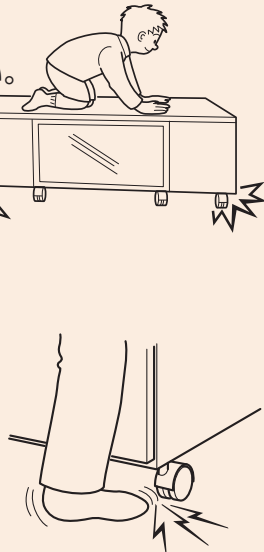
●キャスターにロックをかけたまま走行しないでください。
床面に傷がつく恐れがあります。
●TVボードを動かす場合は足元にご注意ください。
- 必ず二人以上で動かしてください。
  落下してケガをする恐れがあります。

●表記の耐荷重以上でのご使用は、やめてください。
ユニットが破損し、ケガをする恐れがあります。

耐荷重一覧表

W800	30kg
W1200	50kg
W1400	60kg
W1600	70kg

バックパネルについて

耐荷重60kgまで（壁掛けTV用）

●壁掛けTV用バックパネルは、TVを壁掛けし、パネル内に配線を通す事が可能です。
●据置タイプは壁面化粧のみであり、TVの壁掛けには対応しておりません。

TVを壁掛け取り付けされる場合は、壁掛け用TVバックパネルをご使用ください。据置タイプに取り付けると落下・破損し、重傷を負う恐れがあります。

⚠注意

●配線穴などにぶら下がらないでください。
- バックパネルが落下し、ケガをする恐れがあります。

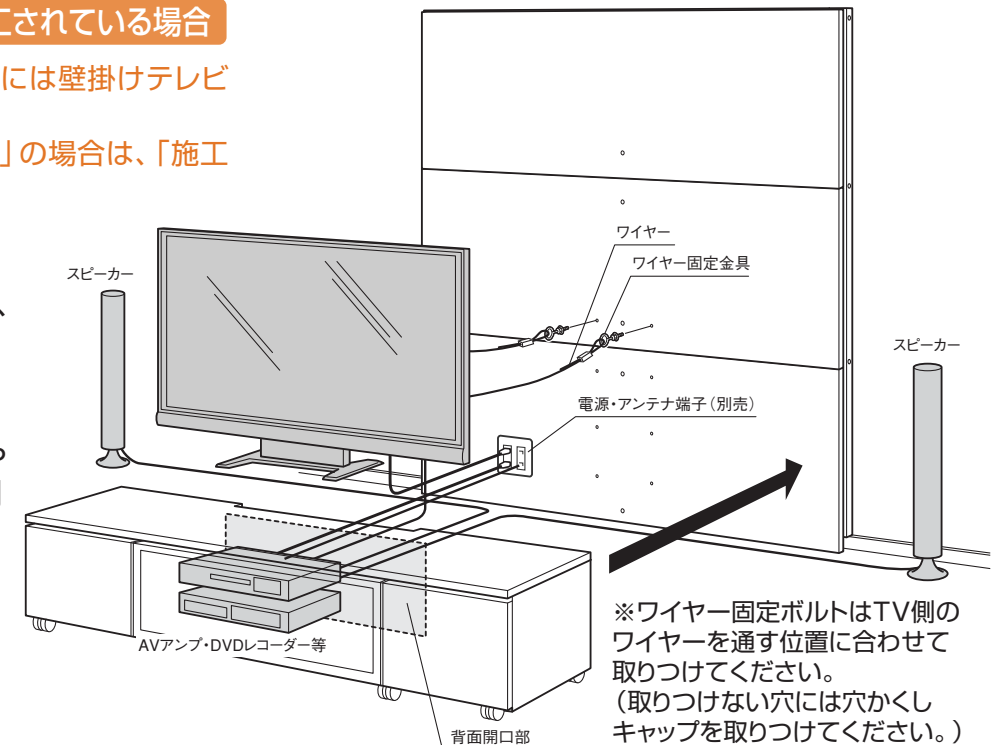
●バックパネル内に配線を通したままTVボードを移動させないでください。
- 配線が引っ掛かりバックパネルが落下し、ケガをする恐れがあります。

TVの設置

据置きTV用バックパネルが施工されている場合

※「据置テレビ用バックパネル」には壁掛けテレビを設置することはできません。
※「壁掛けテレビ用バックパネル」の場合は、「施工説明書」をご参照ください。

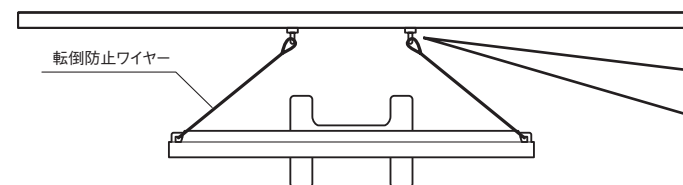
①TVを設置する。
各TVメーカーの説明書に従い、正しく設置してください。

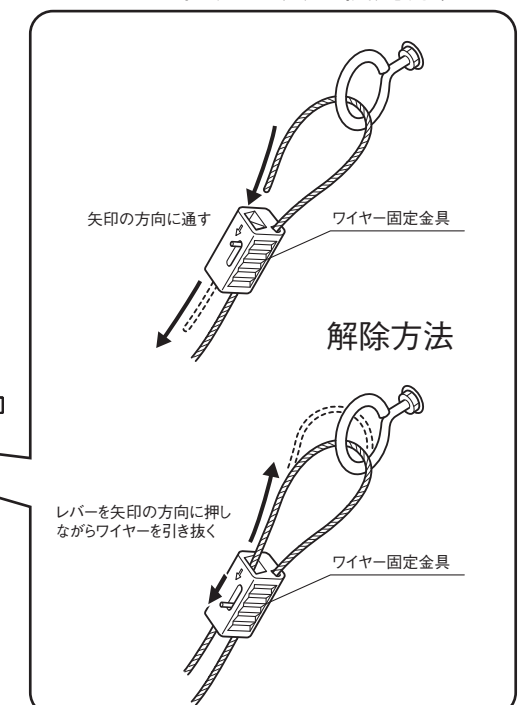
②転倒防止策を行う。
TVの設置場所が決まり、配線や設定が完了してから最後に転倒防止策を実施してください。

※ワイヤー固定ボルトはTV側のワイヤーを通す位置に合わせて取りつけてください。
（取りつけない穴には穴かくしキャップを取りつけてください。）

本製品ではTV転倒防止策としてTV固定用ワイヤーを同梱しています。
TVの機種によってはTV背面にワイヤーを取付けられないものがありますが、その場合はTVのスタンド部をTVに同梱されている固定部材で転倒防止を行ってください。

地震などでのTVの転倒・落下による危害を軽減するため、必ず転倒防止策を実施してください。

再びTVを移動させる場合は、固定用ワイヤーをはずしてから移動させてください。

〈ワイヤーの取付け方法〉
同梱のワイヤー1本（または2本）を使用してTV背面とバックパネルに取り付けたワイヤーフックを固定してください。
TVサイズやTV台の高さから、最も適切なワイヤーフックの固定位置を決めてください。
フックを取りつけない穴にはキャップをしてください。

転倒防止セット内容
- ワイヤー　L=1000㎜　2本（端部キャップ付き）
- ワイヤー固定金具　2個
- ワイヤーフック　2個
- キャップ　8個

ワイヤー固定金具の使用方法

壁寄せTVボード

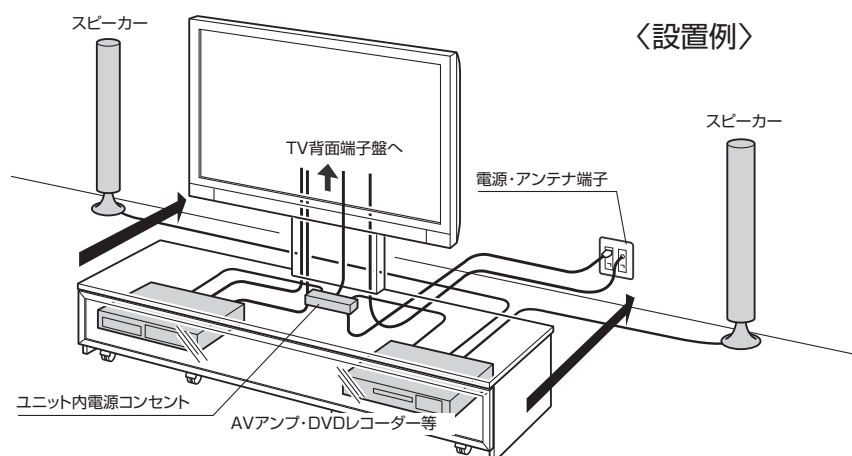
1. コンセント
本ユニットには、コンセントが内蔵されています。
（3口　1500W）
AV機器などのコンセントはユニット内蔵のコンセントに差し込んでください。

2. 配線
コンセント差込後の外への配線は、ユニット底板の切欠きから配線してください。
※アンテナ線も同様に配線してください。

TVボードに内蔵のコンセントの長さは、約2Mです。コンセント長さ以上動かす場合は、一度コンセントを抜いてから動かしてください。
※W1200はコンセントを内蔵しておりません。

〈背面図〉

TV電源
TV側端子へ
アンテナ端子へ
TV側端子へ
柱パーツ
AV側端子
AV側電源
AV側端子
AV側電源
コンセント
アンテナ

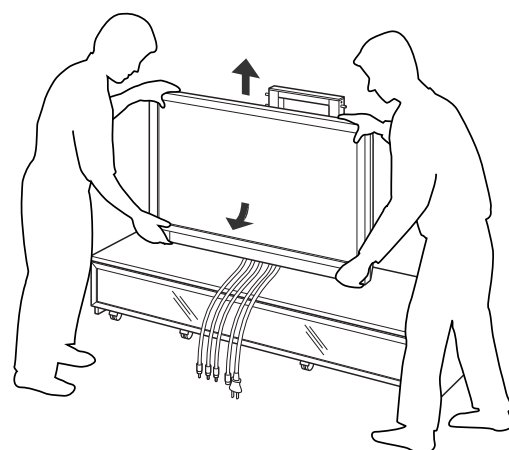
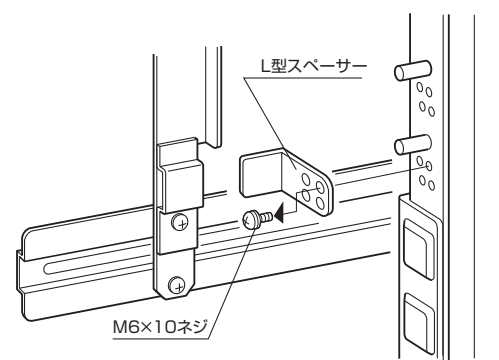
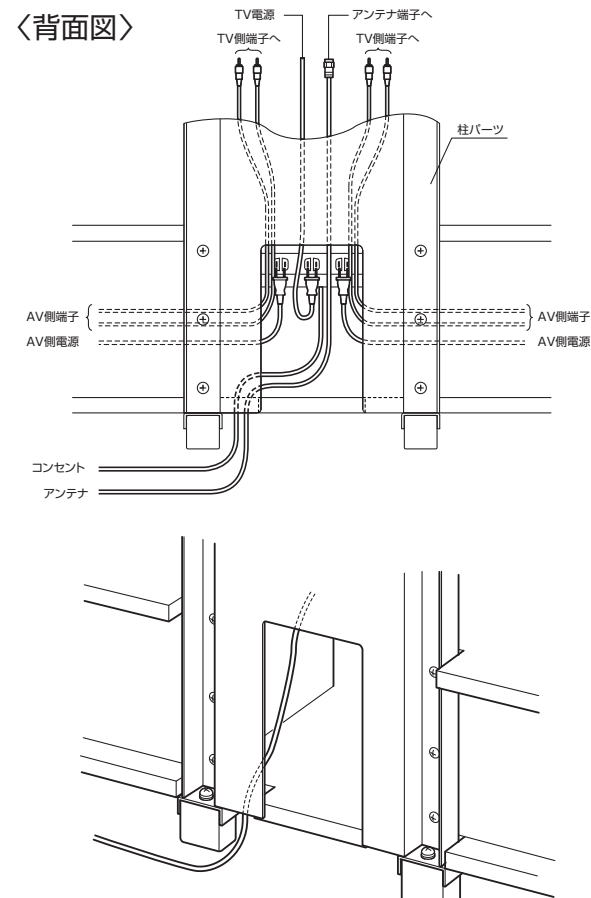
〈設置例〉

TVの付け替え

TVの付け替えを行う前に、必ず対応機種をご確認してください。
機種によっては、金具に取り付かない場合があります。
対応機種の確認は、大建工業HP
http://www.daiken.jp/misel/index.html
よりご確認ください。

1. TVモニターの取り外し
1）金具柱の両側にあるL型スペーサーを取り外します。（M6×10）

取り外し時にTVモニターが傾きますので指を挟まないよう注意してください。

2）L型スペーサーの取り外し後、TVモニターを取り外してください。

TVの付け替えを行う場合は、必ず2人以上で作業してください。
TVが落下し、ケガを負う恐れがあります。

2. 配線カバーの取り外し
1）配線カバー両横の化粧キャップを外します。
※キャップには左右があり異なりますので、外した際に左右わかる様に分別しておいてください。

L（左側）／R（右側）
※キャップ上下のミゾにドライバーを差し込むと簡単に外れます。

配線隠しカバー
化粧キャップ
柱パーツ裏面
ドライバー

3. 金具の取り外し
1）モニター裏面の金具を取り外します。（M6×10）

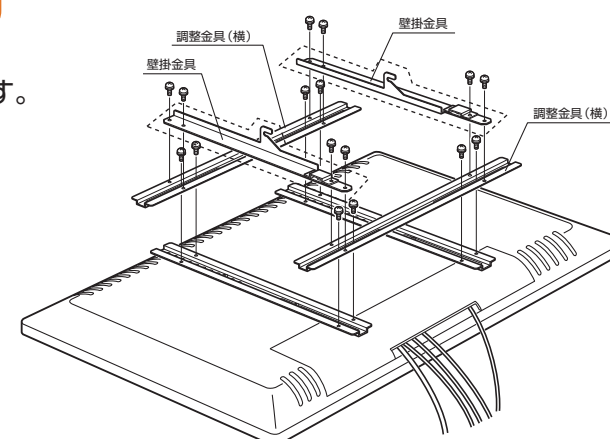
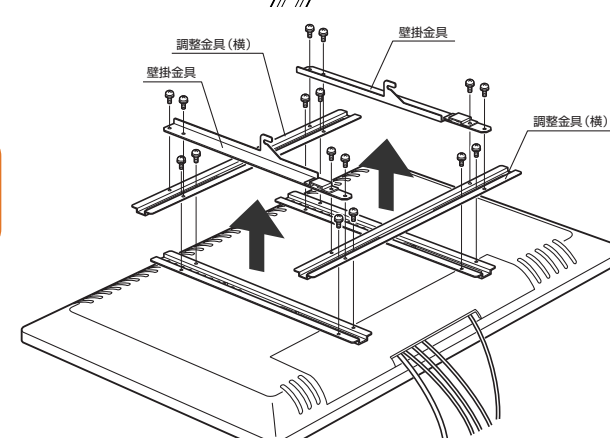
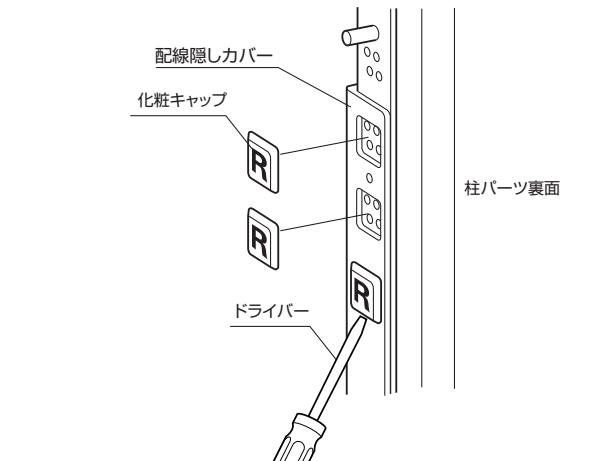
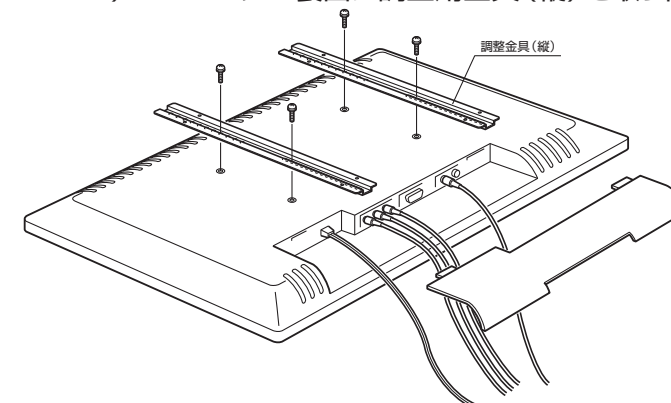
モニターを床に置く場合は、画面が傷つかないよう、布などを敷くようにしてください。

2）裏面の金具（調整金具横／壁掛け金具）を取り外した後にTV本体の金具を取り外します。

調整金具（横）
壁掛金具
壁掛金具
調整金具（横）

4. TVの取り付け
1）TVモニター裏面にTV電源コード、アンテナ線、AV機器接続コードを取り付けます。

※設置後は、ケーブルを取り付けできませんので調整金具の取り付け前にTVに接続するケーブルやコードは、この時点で確実に取り付け、端子カバーを取り付けてください。

2）TVモニター裏面に調整用金具（縦）を取り付けます。

※引掛け部が内側を向く様に取付けてください。

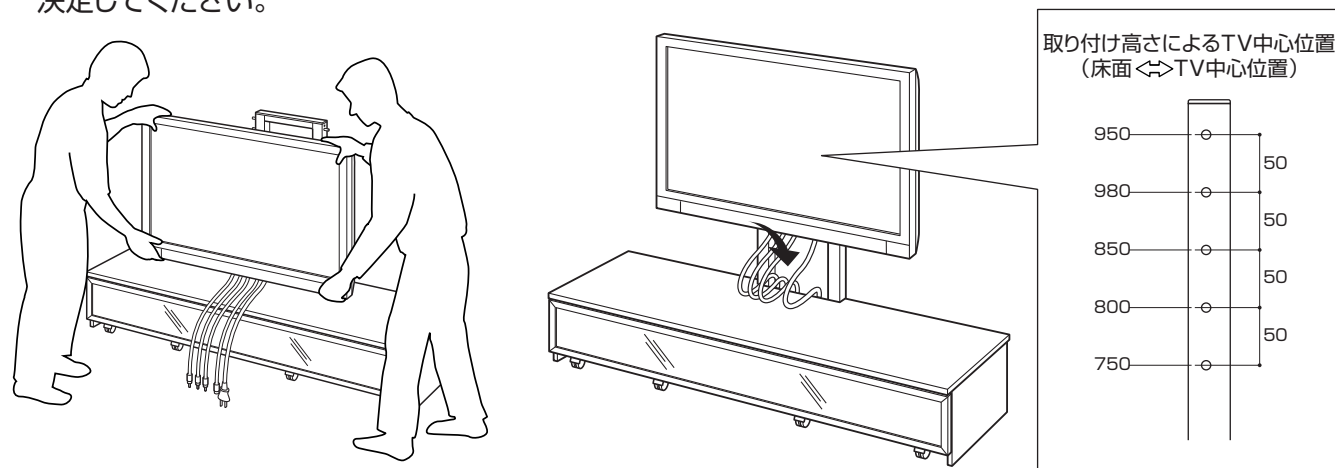
設置にほこりが溜まり、火災の原因となる恐れがありますので、端子カバーは必ず取り付けてください。取り付けはスタンドを外したモニターの裏面にある、TVメーカー純正の壁掛け金具用の取り付けボルト穴に取り付け、出来るだけ金具がTVの中心になるように取り付けてください。
TVの取扱説明書の注意事項をよくご確認のうえ、取り付けを行ってください。

モニター表面を床に置く場合は、必ず養生用のマット等を敷いてください。
モニター表面を床面に直接置くとモニター表面が傷付く恐れがあります。
※取り付け用ネジは各TVに準じたものを使用してください。同梱のネジでは対応できない場合は、対応のネジ（焼き付け処理済みネジ）をご用意ください。
TVの取り付けネジは大建工業㈱HPにてご確認ください。
http://www.daiken.jp/misel/index.html

３）モニターに付けた調整金具（縦）の上から調整金具（横）を取り付けてください。（M6×10）
調整金具（縦）からの飛び出しが均等（真中）になるように取り付けてください。

4）取り付けた調整金具（横）の上から壁掛金具を取り付けてください。（M6×10）
※壁掛け金具の向きに注意してください。

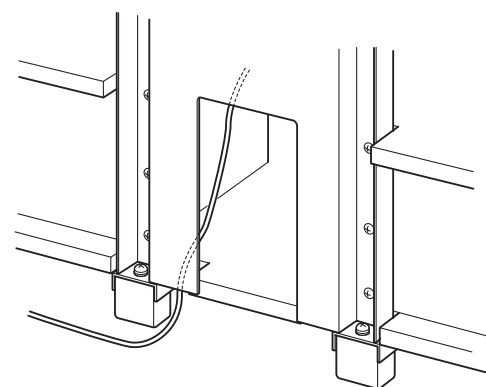
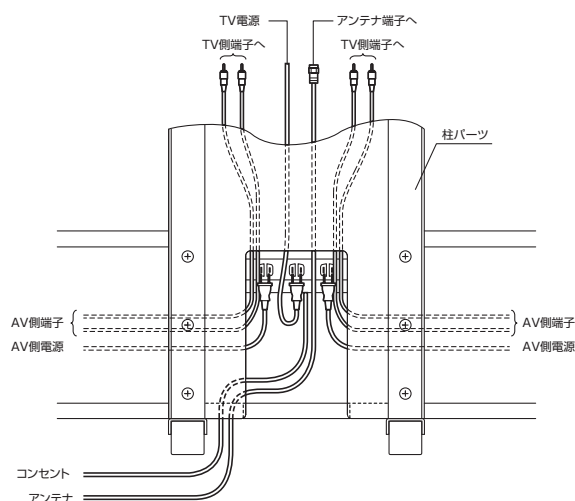
5. TVの設置

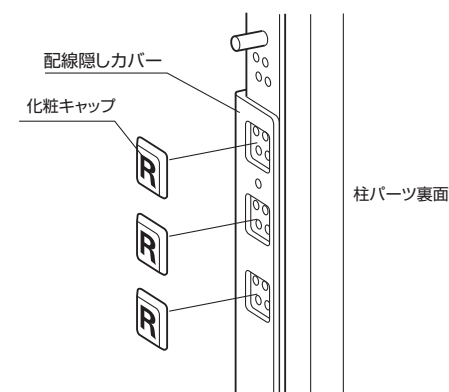
１）調整金具と壁掛金具を取り付けたTVモニターをTVボード本体に取り付けた柱パーツに取り付けます。
※この製品はTVモニターの取り付け時の高さを5段階から選べます。お好みの高さに取り付ける位置を決定してください。

TVの機種によっては、30㎏近くになるものもありますので、取り付け時は2人以上で作業を行い、TVを落とさないように注意してください。

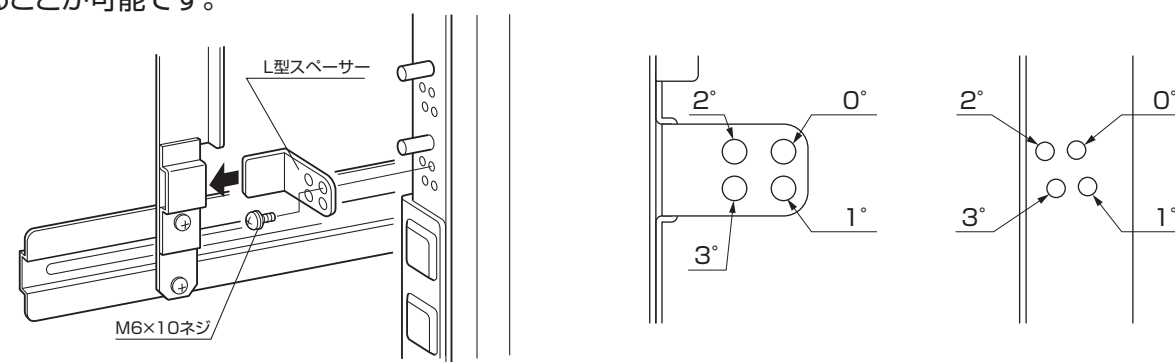
6. 配線処理

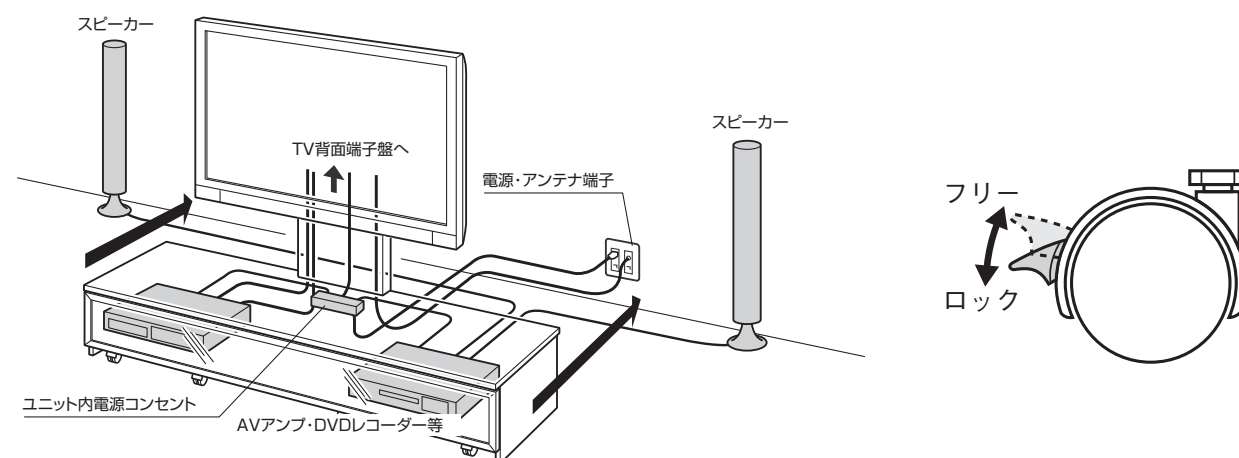
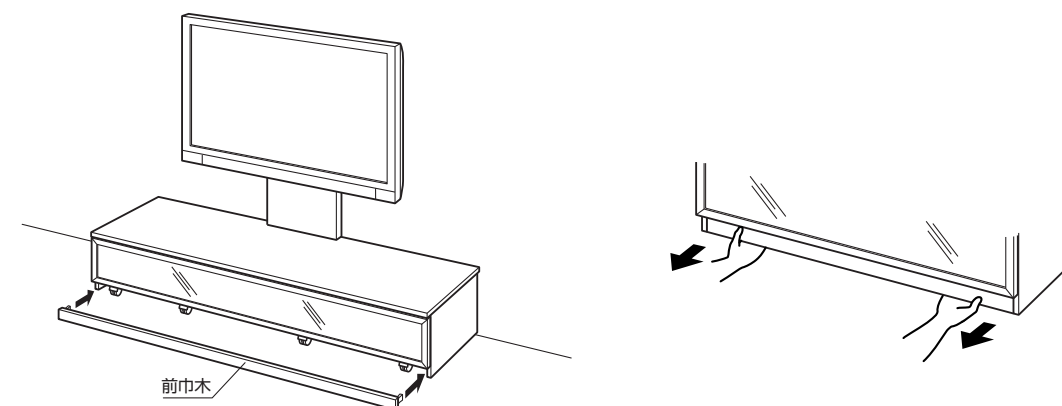
〈1〉コード／ケーブルの配線
１）AV機器との接続
TVに取り付けておいた端子ケーブルを柱パーツの内部を通して、TVボード本体内部に通し、AV機器と接続します。

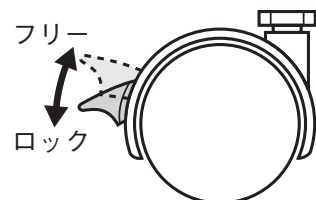
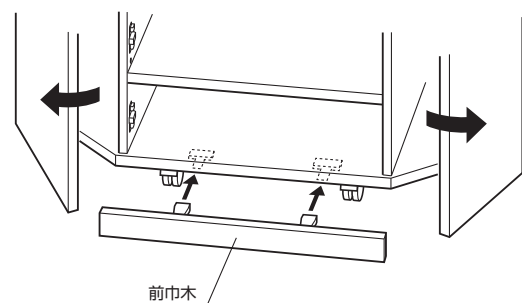
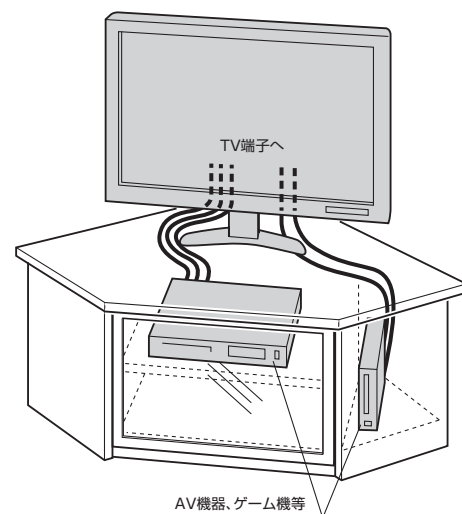
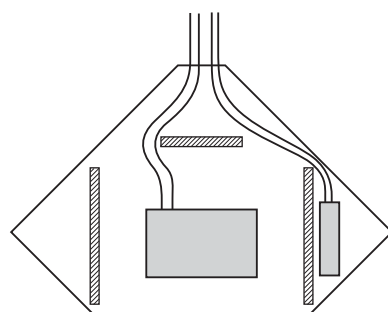
電源コード（TV／AV機器）
電源ケーブルは柱パーツ内部を通した後に、TVボード背面のコンセント部に接続します。（3口まで接続可能）AV機器の電源も同じようにコンセント部に接続してください。
電源コードの接続後、コンセント部の電源コードをTVボード底板の配線穴から出して、コンセントと接続してください。
※W1200はコンセント部はありません。

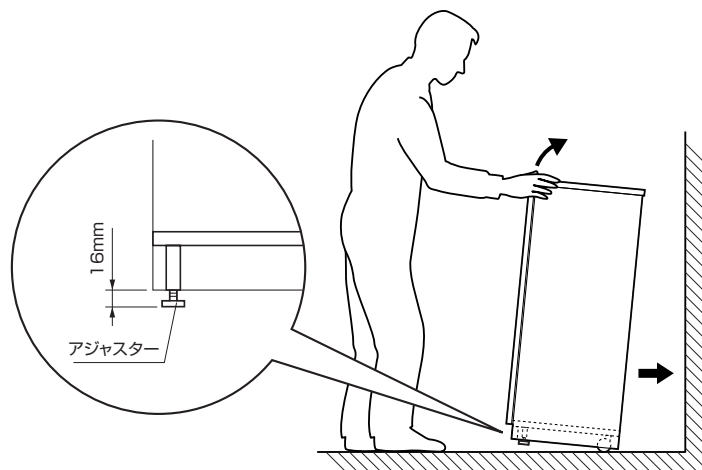
アンテナ線
アンテナ線は柱パーツを通した後、TVボード底板の配線穴から出して、接続してください。

〈2〉配線隠しカバーの取り付け
１）全ての配線が終了した後、柱パーツの前面に配線隠しカバーを取り付けます。

２）配線カバーの設置後、側面にキャップを取り付け、配線カバーを固定します。
※配線カバー取り付け時はTVを傾けて取り付けてください。

7. TVの固定

１）同梱のL型スペーサーを調整金具（縦）に差込み、TVの角度を決定し、柱パーツにネジで固定してください。（M6×10）
※金具は柱パーツ穴の適合する穴をご使用ください。固定する穴を変更することでTVの上下角度を変えることが可能です。

8. TVボードの据付

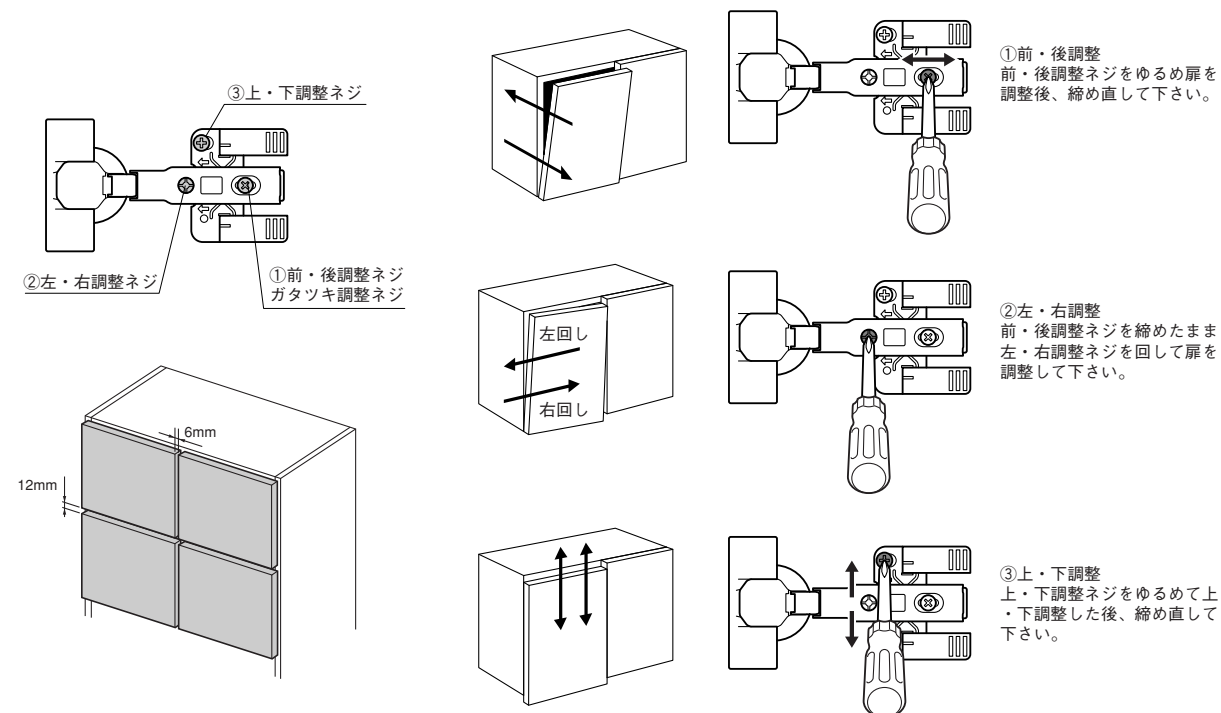
１）全ての組立て作業が終わりましたら、TVボードを壁側又はユニット内部に納め、両端に取り付けたキャスターつまみを下ろし、ロックを掛けてください。設置後は、必ずロックしてください。

２）キャスターのロック後に前巾木を取り付けます。取り付け後に、しっかりと付いてるいるか、確認してください。再度取り外すときは、前巾木下に指を差込み、前巾木を手前に引くと外れます。

コーナーTVユニット

1. ユニットの移動
ユニットを移動させる場合は、下部の前巾木を取り外して、キャスターのロックを解除してください。
コーナーTVユニットの場合、両サイドの扉を開けてから取り外してください。
※前面の扉と干渉しているため、前面の扉も開けてから取り外すと、外しやすいです。

配線はユニット内部を通した後、カウンター後面の欠取り部から線を抜いてください。
※コーナー用背面収納を設置している場合は、ユニットを移動させてから、配線を行ってください。

キャスターユニット

1. ユニットの移動
ユキャスターユニットの移動は、ユニット前面を持ち上げて移動させてください。

移動終了後、前巾木下のアジャスターを調整し、他ユニットとの水平を調整してください。

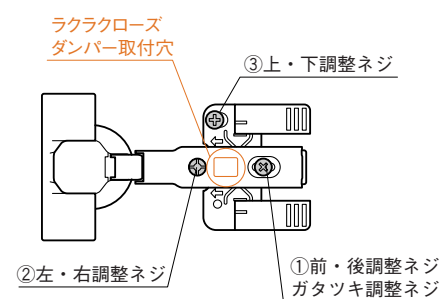
扉の調整

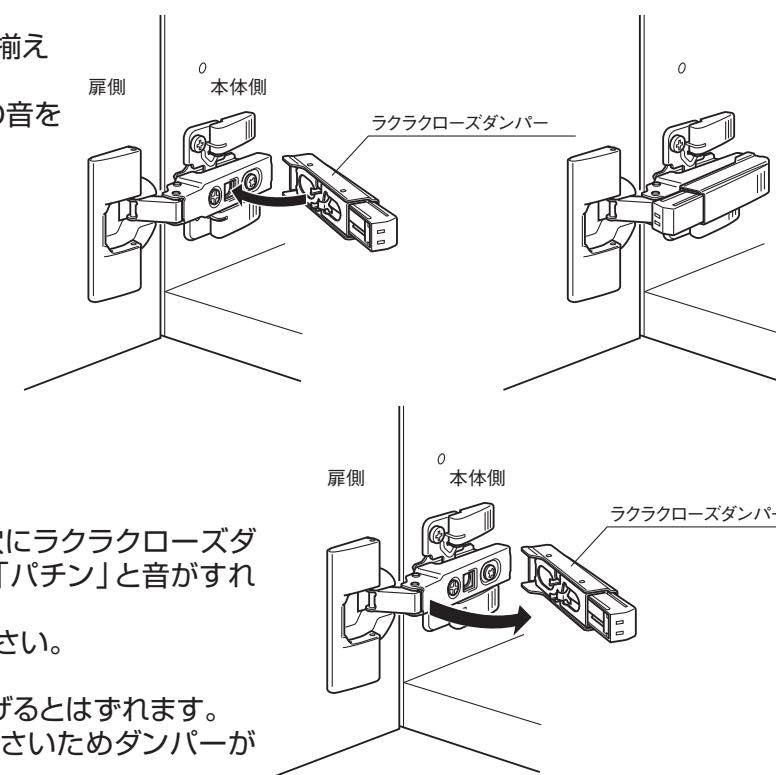
3. 扉の調整

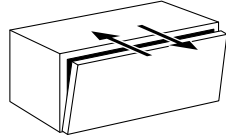
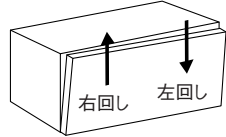
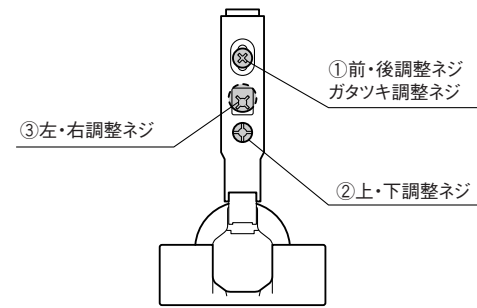
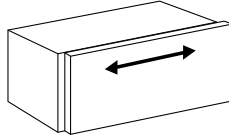
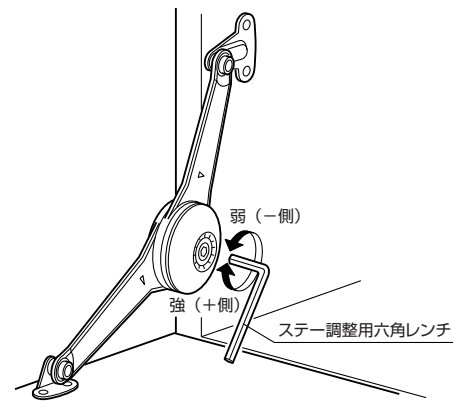
扉を吊り込んだ後、下記の方法で扉高さや、スキ間を調整してください。

注意 扉間（縦間）のスキ間（上下）は12㎜が標準です。
12㎜より狭いと開閉の際、指が入りにくくなります。

4. オプションパーツの取付け

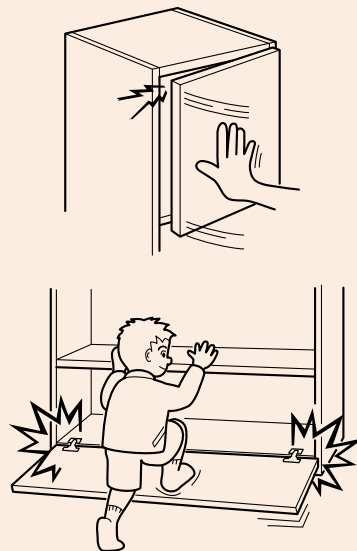
ラクラクローズダンパー（品番FLX711-1）の取付け　※開き扉（ウッド）H2／H3／H6／H7用

オプションでラクラクローズダンパーを品揃えしています。
ダンパーを取付けることで扉を閉める際の音をやわらげることができます。
取付け方は以下を参照してください。

扉を開いた状態で丁番のダンパー取付穴にラクラクローズダンパーを当て奥に押し込む様にはめ込み「パチン」と音がすれば取付完了です。
※扉を2、3回開閉し、動作を確認してください。

はずす時はダンパーの先を内側にはね上げるとはずれます。
※1段用扉にも取付は可能ですが、扉が小さいためダンパーが効きすぎる場合があります。
※3段用高さ以上扉の場合はダンパーを上下に2つご使用ください。

フラップ扉

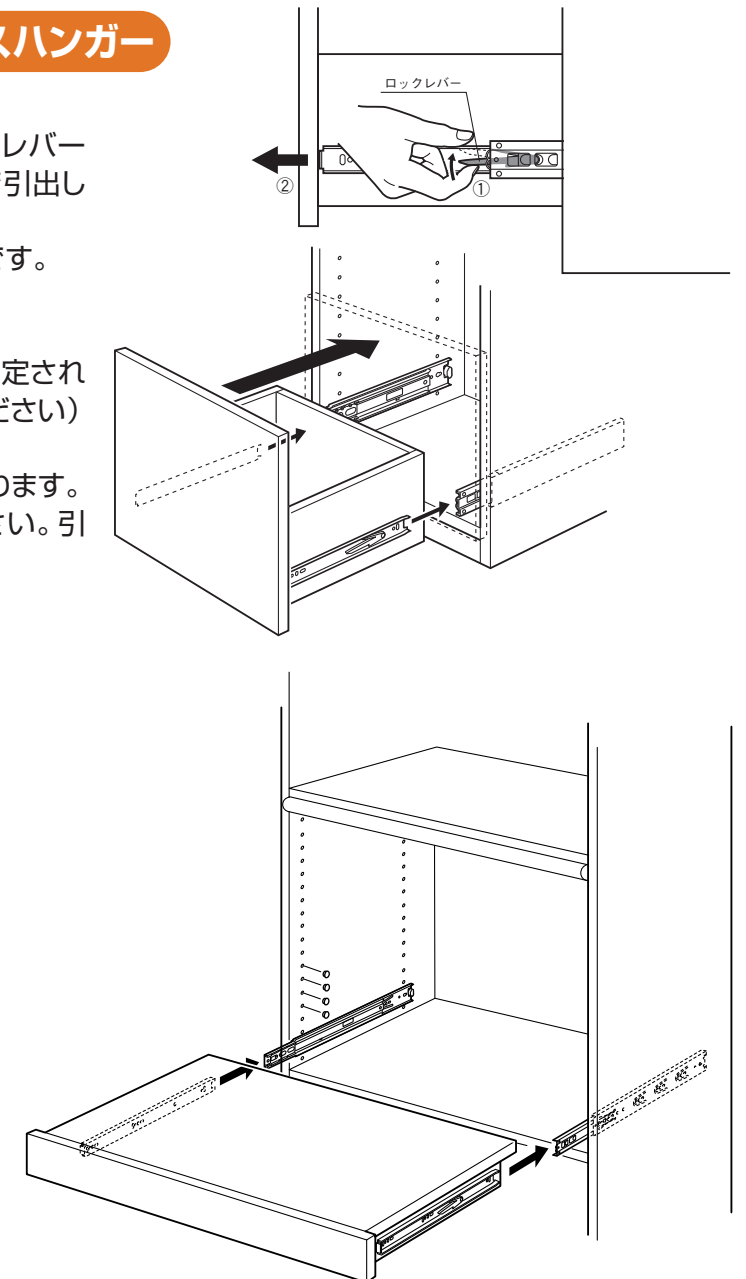
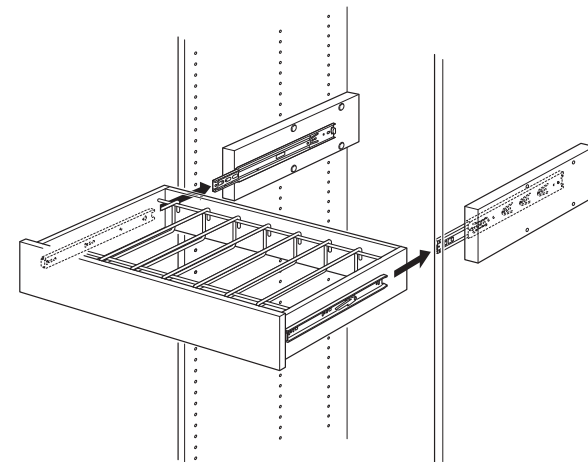
1. 扉の位置調整
下記の方法で扉高さや、スキ間を調整することができます。

2. ステーの強弱調整を行う
円盤部に同梱の六角レンチを差し込み+〜ー表記に従って回し、
ブレーキの強弱調整をすることができます。

扉に関する注意

禁止行為

●扉の開閉はゆっくり行ってください。
・収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。
・扉／ユニットが破損し脱落・落下する恐れがあります。
●無理な開閉はやめてください。
・破損・脱落し、ケガをする恐れがあります。
●下開きフラップ扉に腰掛けたり重いものを乗せたりしないでください。
・本製品はデスクではありません。破損・落下しケガをする恐れがあります。
●フラップ扉開閉時に稼働金具部に手を入れないでください。金具に手を挟んでケガをする恐れがあります。
●フラップ扉は経年により開閉力が緩んできます。付属の六角レンチを使用して調整を行ってください。（扉の調整を参照）
●使用後は必ず扉を閉めてください。
・他ユニットの開閉ができなくなったり、扉同士がぶつかることがあります。

引出し/スライドカウンター/スラックスハンガー

●引出しの取りはずし
引出しをはずす場合は、引出本体のレールのロックレバーを上げ（左側は下げる）引出本体を引き抜くことで引出しを取りはずす事が可能です。
※スライドカウンター/スラックスハンガーも同様です。

●引出しの取り付け
引出しを再びレールにはめこみ、押し込むことで固定されます。（2、3回開閉し固定されたことを確認してください）

引出/スライドカウンターの耐荷重は下表一覧になります。ご確認の表記荷重以上でのご使用はやめてください。引出が脱落しケガをする恐れがあります。

耐荷重一覧表（引出）

奥行＼幅	W400	W533	W800
D300	5kg	5kg	10kg
D450	5kg	5kg	10kg

耐荷重一覧表（スライドカウンター）

奥行＼幅	W400	W533	W800
D300	10kg	10kg	20kg
D450	10kg	10kg	20kg

耐荷重一覧表（スラックスハンガー）

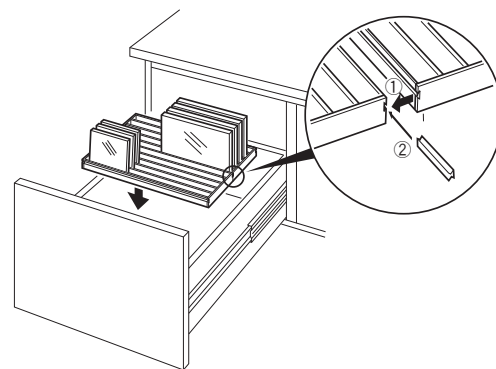
奥行＼幅	W400	W533	W800
D600	5本	8本	10本

※一度使用されたダボ穴は再度ネジを固定できない恐れがあるため、ダボ穴の再利用はおすすめしません。

禁止行為

●引出/スライドカウンター/スラックスハンガーを勢いよく引き出したり収納しないでください。
・収納物が破損したり、レールが破損しケガをする恐れがあります。
●引出/スライドカウンター/スラックスハンガーの耐荷重表記を超える重量物を収納しないでください。
・引出/スライドカウンター/スラックスハンガーの破損・脱落の原因となります。
●引出した状態でのったりしないでください。
●炊飯器を使用する場合はスライドカウンターを引出して使用してください。
・蒸気によりユニットが変形する場合があります。
●振動する調理機器（ミキサー・フードプロセッサー等）は使用しないでください。脱落の危険があります。

CDトレイについて

- トレイ1枚につき10枚まで収納可能。接続する事で収納枚数を増やせます。
- 棚板に置いての使用も可能です。

ハンギング棚板の移動

必ず2人以上で作業してください。

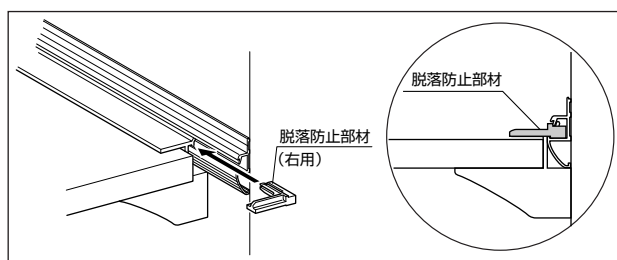
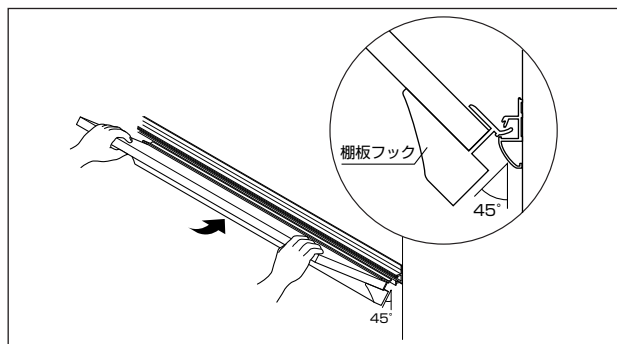
①脱落防止部材をはずします。その際、棚板が脱落しないようしっかり支えてください。

②棚板の手前を上に持ち上げ斜めにしてはずしてください。

③取付け場所を決め、フックの出っぱりをレールの溝に差し込んでください。

④棚板フックとレールの隙間に脱落防止部材を差し込んでください。

アルミ端部で手などにケガをしないように注意してください。

脱落防止部材は必ず取り付けてください。
取り付けないと棚板が脱落し、大ケガをする恐れがあります。

※オプションアイテムも同様に移動できます。

耐荷重一覧表

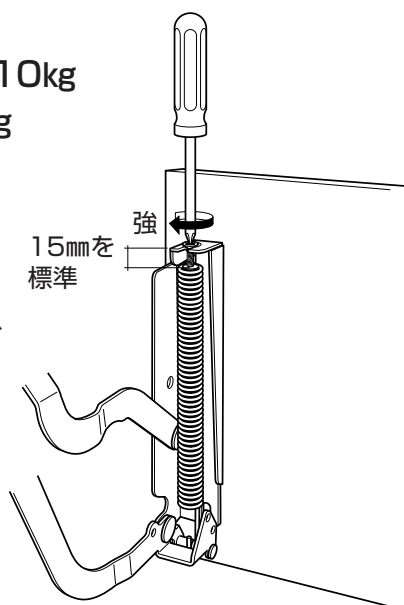
ガラス棚板		ハンギング用パーツ	
W400	5kg	フック	5kg
W800	10kg	スパイスラック	10kg
		トレイ	10kg

格納デスクユニット

デスクの上で振動するもの(ミシン等)は使用しないでください。脱落の恐れがあります

扉の開閉が重い場合は、バネの力を緩めて調整してください。
スイングアップ金具バネを図のように取付け調整用ネジを回してバネの力を調整してください。
(ネジを回すとバネの力が強くなります。)
※緩めすぎると扉が自然に下がるようになります。

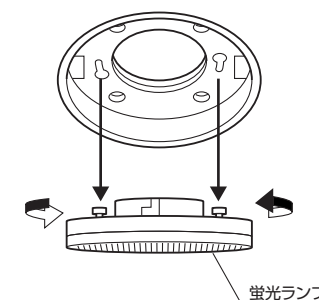
耐荷重:デスク部10kg
棚板20kg

※左右共に調整し、バランスを見てください。

ダウンライト付固定棚/コンセントユニット

ダウンライト付固定棚/コンセントユニットの周囲に水に濡れたものを放置しないでください。
感電/火災の発生の恐れがあります。

ダウンライトの下、100㎜以内にものを置かないでください。
熱により発火する恐れがあります。

ランプの交換

ランプを取り外す際は、図のようにランプを反時計回りに回して取り外してください。
ランプは下記と同様のものを電気屋もしくはホームセンターにて購入し交換してください。

MiSELダウンライト固定棚用ランプ(キャビネットランプ) 販売元 NEC

品番	EFF8EL/C7	定格入力電流(A)	0.16
光色	電球色(3000K)	寸法 (mm)	外径/φ74.5 厚み/24.5
全光束	300		
定格寿命(時間)	10,000時間	質量(g)	60

上記指定のランプ以外は取り付けないでください。火災/やけどの原因になるそれがあります。

使用済みのランプは割らずにその地域の自治体の指定する方法で廃棄してください。

ラジオなど音響機器の近くでは雑音が入る場合があります。このような場合はランプの近くから1m以上離してご使用ください。

3. お手入れ

コンセントを使用している場合は、コンセントにゴミやホコリが付着しない様に定期的に掃除をしてください。
火災やショート・漏電・感電の恐れがあります。

本体部材のお手入れ

- 本体の掃除は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
  シンナー・ベンジン等を使用すると表面の艶が変わったり変色する恐れがありますので避けてください。

アルミ扉のお手入れ

フレーム〈アルミ製〉
アルカリ性・酸性系の洗剤は避けてください。

表面材〈アクリル製〉(スモーク・ミスト色)
傷がつきやすいので取扱には十分注意してください。薄めた台所用中性洗剤で水洗いして、汚れを落としてから乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。